

2026年8月吉日

各クラブ代表者 各位

奈良県社会人クラブバドミントン連盟

会 長 乾 卓 次

(公 印 略)

第36回奈良県社会人クラブバドミントン連盟（単・混合）選手権大会開催要項 （兼近畿社会人選手権大会及び全国社会人大会個人戦選考会）

標記大会を下記により開催いたしますので、大会の主旨にご賛同いただき、選手の出場方について格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 大会名 第36回奈良県社会人クラブバドミントン連盟（単・混合）選手権大会
2. 主催 奈良県社会人クラブバドミントン連盟
3. 協賛 ヨネックス株式会社
4. 期 日 2026年10月18日（日）
受付：午前9時 開会式：午前9時30分 競技開始：午前9時50分
5. 会 場 桜井市芝運動公園体育館 住所：桜井市三輪686 TEL：0744-45-0609
6. 種 目 シングルス（男女）、混合ダブルス個人戦（シングルスと混合ダブルスは兼ねられない）
 - *一般単（男女） *一般（MIX）
 - *30歳以上単（男女） *合算60歳以上混合（60MIX）
 - *35歳以上単（男女） *合算70歳以上混合（70MIX）
 - *40歳以上単（男女） *合算80歳以上混合（80MIX）
 - *45歳以上単（男女） *合算90歳以上混合（90MIX）
 - *50歳以上単（男女） *合算100歳以上混合（100MIX）
 - *55歳以上単（男女） *合算110歳以上混合（110MIX）
 - *60歳以上単（男女） *合算120歳以上混合（120MIX）
 - *65歳以上単（男女） *合算130歳以上混合（130MIX）
 - *65歳以上単（男女） *合算140歳以上混合（140MIX）
 - *70歳以上単（男女） *合算150歳以上混合（150MIX）
 - *75歳以上単以上（男女）
 - *80歳以上単以上（男女）

※2026年4月1日の満年齢を適用する。
7. 競技規則 （公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程、公認審判員規程に準ずる。
8. 競技方法 混合複は予選リーグ戦後、トーナメント方式。単はトーナメント方式。
※参加人数により部の統合、競技方法を変更して行う場合があります。
9. 使用用器具 2026年度（公財）日本バドミントン協会一種検定合格球。

10. 参加資格 奈良県社会人クラブバドミントン連盟に登録している者。(他府県登録者は登録不可)

(公財) 日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること。

※未登録者は、別紙登録申込書によりお申込み下さい。

他連盟登録者は出場不可。

11. 参加制限 組み合わせ会議後のメンバー変更はオープン戦となります。

12. 組み合わせ 組み合わせについては、主催者一任の事。

13. 参加料 混合複1組 4,000円 単 1人 2,000円

試合当日にお支払いください。

14. 申し込み期限 2026年9月30日(水) 厳守のこと。

15. 申し込み場所 奈良県社会人クラブバドミントン連盟 事務局

(郵送・FAX の場合)

木 下 孝 夫

〒631-0803 奈良市山陵町5 3 7 - 1

TEL・FAX 0742-41-7858

携帯 080-1486-8122

FAX の場合は携帯へ申し込み書を送付した
と、ショートメールを送信してください。

(電子メールの場合)

藤 田 大 輔

TEL:090-1130-6960

又は

nara.shakaijin.bd@gmail.com

Excel または PDF データで送付してください。

16. 申し込み方法 別紙申し込み書により申し込むこと。

17. 表彰 各種目とも1位は、賞状を授与する。

18. スポンサー登録について

スポンサー登録を希望するチームは、奈良県社会人クラブバドミントン連盟に所定の用紙にて
届出をする事。

19. 着 衣 (1) 競技中の着衣で色付き着衣を使用する場合は、(公財) 日本バドミントン協会審査合格品とする。

(2) 着衣上の背面表示については、(公財) 日本バドミントン協会大会運営規程第24条を適用します。

社 会 人 ク ラ ブ 名

奈 良

(3) 背面には必ずクラブ名と県名の両方の表示をすること。

(4) 背面に明記するチーム名は、申し込み書のチーム名と同一とし、使用する文字は常識の範囲で
見やすい文字とする(県名は漢字とし、チーム名は漢字・英字・カタカナ・ローマ字等で標準的な
文字ならば認める)。

20. 備 考 (1) 本大会参加に際して提供されました個人情報、本大会活動のみに利用するものであり、それ
以外に利用することはありません。

(2) 審判は、敗者と勝者で行う。

(3) 大会運営中の傷病については、主催者側で応急処置をとるが、後は本人責任とする。